

平成 30 年度一人一細案授業実施計画

教務教研部

1 目的

- (1) 授業の目標、展開及び評価等について文章化することで授業内容を明確にする。
- (2) 児童生徒の実態把握をより確かなものにし、教職員間で共有できるようにする。
- (3) 授業後の協議会において授業評価を行うことで、授業改善に役立てる。
- (4) 研究テーマに沿った授業に学校全体で取り組むことで、「チャレンジと振り返りを通して、『次への意欲』を育む授業づくり」における指導・支援の工夫について研究する。

2 内容

- (1) 実施授業について
各教科及び各教科等を合わせた指導に制限を設けない。
- (2) 実施日について
 - ア 6 月から 12 月までの授業日に実施する。
 - イ 実施日程表に、実施月、教科・領域名、授業者名を記入する（5 月 11 日まで）。
⇒原則、実施月の変更はしない。
 - ウ 授業実施日の一週間前までに、各学部の教務教研部（小：富田 中：沖野 高：亀山）まで授業日を知らせる。
- (3) 学習指導案の様式について
次のフォルダから取り出して、記入を行う。
※共有データ→h30→110 学習指導案様式
- (4) 授業改善シートについて
 - ア 授業者は、実施日の前日までに、学習指導案の授業改善シートに、日時、授業者名、教科・領域名を記入しておく。
 - イ 授業参観者は、授業での様子を記入し、授業後の協議会で授業者に渡して活用する。
- (5) 学習指導案の提出・保存について
授業者は、実施日の前日までに、校長、教頭、各部主事及び特別支援教育コーディネーター、初任者（今年度は 3 名）、教務教研部の計 10 部をプリントアウトして、各学部の教務教研部（小：富田 中：沖野 高：亀山）まで提出する。また、前日までに共有データの次のフォルダに学習指導案を保存し、参観希望者はフォルダから各自プリントアウトして持参する。
※共有データ→h30→180 一人一細案授業→細案はここにしてください
- (6) 授業改善シートへのまとめについて
授業者は協議会后、共有データに保存してある学習指導案の、最後のページについている 授業改善シート に協議内容等をまとめ、上書き保存をする。授業後、一週間を目安に行う。
※共有データ→h30→180 一人一細案授業→細案はここにしてください
- (7) 授業協議会について
 - ア 授業実施日の放課後又は後日に、授業者、サブティーチャー、参観者で授業協議会を行う。
 - イ 学習指導案の提出時または当日の朝に、授業後の協議会について（時間等）、関係者と確認しておく。
- (8) その他
 - ア 教務教研部が授業実施日の 一週間前までに、授業日、場所、教科・領域名を職員室のホワイトボードに記入し、周知する。
 - イ 教職員ができるだけ授業を参観できるよう、日程等を学部学年会等で連携・調整を図っておく。
 - ウ 授業実施日に部主事の急な出張等が入った場合、他の管理職による授業参観が可能な場合は、実施日を変更する必要はない。